

平成30年1月12日（金）

第7回 小児がん拠点病院連絡協議会

小児がん対策の現状について

厚生労働省 健康局がん・疾病対策課



第3期がん対策推進基本計画（概要）

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

- (1)がんの1次予防(※)
- (2)がんの早期発見、がん検診(2次予防)

(※)受動喫煙に関する目標値等については、受動喫煙対策に係る法案を踏まえて別途閣議決定する予定。

2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん
(それぞれのがんの特性に応じた対策)
- (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん
(※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

4. これらを支える基盤の整備

- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会

【趣旨】

がんは、小児、AYA (Adolescent and Young Adult, 思春期及び若年成人) 世代の病気による主な死因の1つであり、多様ながん種が含まれる。このため、第3期がん対策推進基本計画では、小児・AYA世代のがんは、成長発達の過程においても、乳幼児期から活動性の高い若年成人期に至る成長に伴って特徴も変化していくライフステージで発症することから、成人のがんを基本としつつ、特徴に応じた対策が求められている。

本検討会では、小児・AYA世代のがん患者とその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるような環境の整備を目指し、小児がん拠点病院のあり方や、がん診療連携拠点病院等との連携を含めた医療や支援のあり方と具体策について検討する。

【構成員】

石田 智美	聖路加国際病院こども医療支援室 チャイルド・ライフ・スペシャリスト	榎山 英三	国立大学法人広島大学自然科学研究支援開発センター教授
		○ 堀部 敬三	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長
小俣 智子	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 准教授	松本 公一	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 小児がんセンター長
上別府 圭子	東京大学大学院医学系研究科 家族看護学分野 教授	道永 麻里	公益社団法人日本医師会 常任理事
笹井 敬子	東京都福祉保健局 技監	山下 公輔	公益財団法人がんの子どもを守る会 理事長
越永 従道	日本大学医学部外科学系 小児外科学分野 教授		
西川 亮	埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科 教授		

(五十音順・敬称略 ○は座長)

【設置】 平成29年12月

【検討事項】

- (1) 小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方について
- (2) 小児がん拠点病院のあり方について
- (3) がん診療連携拠点病院等との連携について

小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する論点(案)

第1回小児・AYA世代のがん医療・支援
のあり方に関する検討会 資料6
(H29.12.1)

- ① 第3期がん対策推進基本計画を踏まえて、小児がん拠点病院の指定要件を検討してはどうか。
- ② 小児がん拠点病院と拠点病院以外の病院との連携を強化すべきでないか。
- ③ 小児がん拠点病院で、AYA世代の診療や、妊孕性温存や就学・就労を含めた支援についてどのように対応すべきか。尚、AYA世代の患者ががん診療連携拠点病院に行った場合、連携のあり方はがん診療連携拠点病院等の指定要件に関するWGで別途検討予定。

12月

12/1

第1回 小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会

第1回小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会 資料7 (H29.12.1)

- ・ 小児・AYA世代のがん医療・支援の現状の確認・把握及びあり方の検討

H30年
1-3月

第2回 小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会

- ・ 引き続き小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方の検討
- ・ 第1回の議論を踏まえた、拠点病院の指定要件の見直しの検討

4-5月

第3回 小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会

- ・ 小児・AYA世代のがん医療・支援の提供体制のあり方について(報告書のまとめ)
- ・ 小児がん拠点病院の指定要件の見直し

6月

新たな小児がん拠点病院の整備指針を発出

H31年
1-3月

第8回 小児がん拠点病院の指定に関する検討会

4月

小児がん拠点病院の指定

拠点病院等におけるAYA世代のがんの診療体制について

現状・課題

第4回がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するWG 資料9
(H29.12.27)

- AYA世代のがん患者について年齢や状況に応じた支援が必要である。
- 長期フォローアップ患者については小児がん拠点病院との連携した支援が必要である。
- 生殖機能の温存については情報提供や対応可能な医療機関への紹介が必要である。



論点

- AYA世代のがん患者に対するニーズに対して相談や情報提供できる体制を求めているかどうか。
- 生殖機能の温存について適切な相談、情報提供ができる体制を整備しているかどうか。

ご清聴ありがとうございました。



ひと、くらし、みらいのために